

教職実践演習 (養護教諭)	4 年・後期	2 単位 30 時間	教授 佐光恵子
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	37011314

1. 授業のねらい・概要

学生は、養護教諭に求められる専門的知識や指導技術及び、教員・養護教諭としての人間的な資質能力や教職教養等を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 履修者の履修履歴を踏まえ、教員・養護教諭に必要とされる知識・技能および資質能力を修得したことを確認できる。(D-2)
2. 本学の教員養成の理念に基づき、養護教諭として相応しい人間性を涵養できる。(D-2)
3. 生徒・教員・地域の関係者や保護者との人間関係の形成力、集団における協調性・調整能力の育成を図ることができる。(D-2)

3. 授業の進め方

養護実習での授業参与観察および指導経験をもとに、「学校保健及び学校安全に資する力」、「児童生徒理解や保健室経営に資する力」、「社会性を構築したり人間関係を形成したりする力」について、主として実習体験に即して事例研究を行い、プレゼン・ディスカッションを通して経験の共有化・深化を図る。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

対話・議論型授業・グループワーク等を用いる。

【ICT 活用実施の有無】

ICT は活用しない。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	オリエンテーション (活動内容の確認と授業計画)	講義	予習：テキスト(2 部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光恵子
2	教職課程における学修の意義とその振り返り	講義	予習：テキスト(2 部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
3	保健教育の実践と養護教諭に求められる役割	講義	予習：テキスト(2 部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
4	保健室実践の意義とその進め方の検討	講義	予習：テキスト(2 部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
5	養護教諭による教育実践の本質・構造・領域の整理	講義	予習：テキスト(2 部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
6	学校保健及び学校安全	講義	予習：テキスト(2 部)の該当箇所を読み、わから	佐光

	活動の確認		ない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	
7	児童生徒理解と実態把握	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
8	保健室経営の実際と課題①健康管理	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
9	保健室経営の実際と課題②健康教育	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
10	保健室経営の実際と課題③組織活動	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
11	学校保健組織活動①児童生徒を中心に	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
12	学校保健組織活動②教職員を中心に	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
13	学校保健組織活動③学校地域を中心に	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
14	養護教諭に必要とされる資質能力①倫理観	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
15	養護教諭に必要とされる資質能力②実践力 まとめ	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。(実習成果発表会資料を含む) 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光

5. 成績評価の方法・基準

体験発表，グループ討論，ロールプレイング，課題レポート等の学修成果をふまえ，養護教諭としての資質能力等について確認し，単位認定を行う。課題レポート（50%），および発表の内容・態度（50%）をもとに総合的に評価する。

成績評価は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価とする。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲，出題方法等は，事前に口頭で指示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：なし 参考文献：なし

教職課程の諸講義・実習で使用したテキストや配布資料については持参すること。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

本学の教職課程における諸講義で使用してきたテキスト，講義要旨，配布プリントについて予習復習それぞれ90分程度行なうこと。

8. 受講上の留意事項

明確な目的意識を持ち，教職に就くことを強く志望し，職業倫理を自覚する学生の受講を望みます。

9. 課題に対するフィードバックの方法

各種発表，課題レポートに対して，適宜，指導・コメントする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職の必修科目であり，修得できない場合は免許状取得不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

群馬県下の公立学校の養護教諭，及び群馬県教育委員会指導主事の実務経験を活かして，講義等を行う。